

南っ子



令和7年度学校だより 1月号
1月14日発行
延岡市立南小学校 No17
文責：校長 甲斐憲一

明けまして おめでとうございます！

2026年、明けましておめでとうございます。今年は「午年」ということで、馬はエネルギーで自由な動物を象徴しています。馬は古くから人間の生活に身近に関わり「速さ」「情熱」「自由」を象徴する存在として敬われてきました。午年はエネルギーで前進する力に満ちた年とされますので、みなさんも新しい挑戦を恐れず、積極的に行行動して素晴らしい年にしたいと思います。

1月7日の3学期スタートの日には、子どもたちはいつも通り、元気よく登校してきました。冬休みも大きな事故等もなく、とても良かったです。保護者・地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



3学期始業式



3学期の始業式が行われました。新年の目標・抱負などを3人の児童が発表しました。1年生の横山さんは字を丁寧にきれいに書くこと、1年生の手本となる2年生になりたいと発表しました。3年生の黒木さんは、素敵なお年生になるために、トイレのスリッパをきちんと並べたり、会った人に笑顔で挨拶をしたりして、南小が笑顔いっぱいになるようにがんばりたいと発表しました。5年生の矢野さんはスポーツ(バスケット)でチームを盛り上げて勉強もしっかりして両立し、友達と仲良くすること、そして目標を立てるだけでなく、達成するようがんばりたいと発表しました。3人もしっかりと自分の目標をもち、これから頑張っていこうという気持ちがあふれていて、とても立派でした。

私からの始業式の「幸動」の話は、青山学院大学の箱根駅伝3連覇について話をしました。子どもたちは青山学院大学の駅伝部のことはよく知っていて、どうして強いのかということで
① 監督やコーチの指導や支援がしっかりとできること ② 選手は同じ寮に住み、規則をしっかりと守り同じ目標を持って必死に練習に励んでいること ③ 栄養や健康管理は監督の奥様がしっかりとサポートしていること ④ 大会にはたった10人しか出場できないけれど、出場できない選手もしっかりとサポートをしていること ⑤ 卒業生や地域の方々がサポートし、地域で選手を応援する形ができていることなどを紹介しました。最後に、子どもたちには、チーム南小のメンバーとして、自分のため人のために「幸動」してほしいということを話しました。3学期は本当に短い学期ですが、南っ子649名、力を合わせ頑張っていってほしいと思います。